



北浦小学校「校訓」決定!

校訓策定委員会を10月に立ち上げ、校訓策定について協議していただき、右記の『ひとのために じぶんのために 未来のために』に決定いたしました。

校訓が決定するまでには、保護者の皆様、5・6年生児童、教職員へ作品案を公募させていただき、その結果をもとに3回の策定委員会を実施しました。委員の皆様から、「北浦地区の子供の健全な育成のために必要な資質、子供たちに大切にしていってもらいたいこと等が伝わるような校訓にしていきたい。」「明るい・元気・学ぶ・楽しい等は、授業や休み時間の児童の姿から身に付いているように思う。新しい価値観が見いだせる校訓にしていきたい。」といった意見が出され、決まった右記の校訓には、「友



達や他の人へ優しくする、自分の目標へ向け努力する、そして、身に付けたものを未来へとつなげていくという意味が込められ、児童はもちろん、保護者、教職員にとっても子育てや教育への指標となる言葉である。」という意見にまとめ、決定いたしました。

また、校訓策定委員会におきまして、校訓碑を作成することも決まりました。今後、設置業者と連絡を取り合い、正門付近に設置する予定です。

校 訓

未来のために
じぶんのために
ひとのために

コロナ禍の中、何事にも前向きに取り組んでくれた「6年生」へ「感謝」、そして次のステップへ

校長 武田 民弥

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う臨時休校措置で3月3日を最後に、1～6年生がそろって登校する日はなく、6年生は卒業式を迎えました。今年度も感染予防のため、卒業式式場（体育館）には在校生は入れず、式場には卒業生と保護者、代表職員、来賓のみの参加となります。1～5年生は教室でモニターを通して式に参加する形式で計画しています。卒業式の様子をモニターを通してですが体験することは、北浦小学学校の一員としてとても大切なことだと考えます。



さて、6年生の皆さん、皆さんとは2年間の学校生活でしたが、「ひとはだぬごう北浦小～PRIDE～」のテーマのもと、「進んで」をキーワードとして、いろいろな活動の中心となって学校を引っ張っていてくれました。本当にありがとう。新年度がスタートしたと思ったら約2か月の臨時休校、夏休みは短くなり8月も登校するという、経験したことがない一年でした。そうした状況下でも、学校行事では6年生を中心とした児童主体の取組で「感動ある運動会」をお家の方に見ていただくことができました。代替行事となった『とちぎ海浜自然の家での自然体験』では、「海岸で笑顔で波とたわむれる皆さんの姿」や「船型のアスレチック広場で楽しそうに遊ぶ姿」を忘れることはできません。また、「校内陸上記録会」では、学校の代表の証である「ゼッケン・ハチマキ」に競技への思いを込め、一生懸命に取り組んでくれました。集合写真での笑顔も印象的でした。

6年生の皆さんと一緒に過ごすのもあと3週間、19日の卒業式が最後になります。最上級生として、北浦小学校の顔として取り組んでくれたこの一年間で、「自分でもやればできるんだ」「自分にもこんな可能性があるんだ」ということを少し理解することができたと思います。19日の卒業式では胸を張って、多くの方に成長した姿を見ていただきましょう。